



発行 桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(0277)311177
FAX(0277)401600

お正月を迎えて

「ねずみ年」



令和2年の新春を寿ぎ
檀信徒の皆様、あけまし
ておめでとございませ
う。本年は子年です。
ねずみは、今でも猫に追
いかけています。
それには、こんなエピソ
ードがあるそうです。
昔々の大昔のある年の
暮れのこと、神様が動物
たちにお触れをしまし
た。「元日の朝、新年の
挨拶に出かけて来い。一
番早く来た者から十二番
目の者までは、順にそれ
ぞれ一年の間、動物の大
将にしてやろう」
動物たちは、おろこそが
一番と、めいめいが緊張
って元日が来るのを待つ

ておつた。ところが猫は
神様のところにいつ行く
のか忘れてしまったので
、ねずみに訊くと、ねず
みはわざと一日遅れの日
を教えてやった。猫はね
ずみが言うのを間に受け
て、喜んで帰っていった
と。
さて元日になると、牛
は「おらは歩くのが遅い
だで、一足早く出かける
べ」と夜のうちに支度
をし、まだ暗いのに出発
した。牛小屋の天井でこ
れを見ていたねずみは、
ほんと牛の背中に飛び乗
った。そんなこととは知
らず、牛が神様の御殿に
近付いてみると、まだ誰
も来ていない。
我こそ一番と喜んで待
つうちに門が開いた。と
たんに牛の背中からねず
みが飛び降り、ちよろち
よろっと走って一番にな
ってしまつた。それで牛
は二番、それから虎、兎
、龍、蛇、馬、羊、猿、
鶏、犬、猪の順で着いた
。猫は一日遅れで行つた
ものだから番外で仲間
入れなかつた。
それで、ねずみを恨んで
、今でもねずみを追い回
すのだそう。

これからも、皆様のご協
力をいただきながら鳳仙
寺を護持してゆく所存で
ございますので、本年も

令和2年	年回表
令和 元年	1周忌
平成 30年	3回忌
平成 26年	7回忌
平成 20年	13回忌
平成 16年	17回忌
平成 10年	23回忌
平成 8年	25回忌
平成 6年	27回忌
昭和 63年	33回忌
昭和 59年	37回忌
昭和 53年	43回忌
昭和 49年	47回忌
昭和 46年	50回忌
昭和 26年	70回忌
大正 10年	100回忌

どうぞ宜しく願いま
す。
結びに、皆様のご健勝と
新年のご挨拶といたしま
す。

第27回「写経の会」のご案内

第27回写経の会開催の
ご案内です。鳳仙寺では
年2回行っている恒例の
行事です。開催日である
2月15日は、涅槃会（ね
はんえ）です。
涅槃会とはお釈迦様が
お亡くなりになった日
です。当日は、涅槃会の法
要を行った後に、写経を
行う予定です。今回は、
新しく写仏のお手本をい
くつか用意しました。ぜ
ひ皆さまのご参加をお待
ちしております。
■日時・令和2年2月15
日(土) 13時より

人数・30名くらい
※鳳仙寺婦人会の皆さん
も一緒に参加します。
■参加費・1000円
持参品 小筆(または、
筆ペンでも可)・ブンチン
※ 写経用紙(半紙)、
手本、簡易硯、墨汁は用
意いたします。
■スケジュール
13時〜 受付
13時10分〜 涅槃会
法要(お釈迦様の命日)
13時40分〜 写経
15時00分頃 解散
※締め切りは2月14日(金)まで

秋葉三尺坊大祭が開催されました



当日の様子

10月16日。毎年恒例の
秋葉三尺坊大祭(あきば
さんしゃくぼうたいさい)
が常磐殿にて開催され
ました。
秋葉三尺坊大権現仏像は
、当山の第25世 穆山瑾
栄大和尚様(ぼくざんき

鳳仙寺ポストカードが出来ました

今回の新聞に同封され
ているポストカードは、
活版印刷で作成したカ
ードです。二〇二四年に当
山は、開創450年を迎える
にあたりPRの一環として
作製しました。必要な
方は、お寺
で発売して
います。
※ 参加ご希望の方は、
電話かFAXにてお申し込
みください。
◆お申し込み・
お問い合わせは
お寺まで
電話 0277-32-1177
FAX 0277-40-6000



にあつた秋葉様を秋葉原
に安置したところ火事が
おさまりました。その場
所を、みな「秋葉さま
がいた原っぱ」あきばつ
ぱら」と呼んでいたこと
から「秋葉原」の地名が
ついたとの一説がありま
す。ぜひ、機会がありま
したらお参りください。



プラタモリより 秋葉神社

賀正

位 職	坪井 良廣
副位職・会計	坪井 良樹
羊頭総代	石原 竹雄
総 代	田島 輝雄
総 代	天竺 勝美
総 代	内野 正章
会計監査	岩崎 岑生

世話人	金子宗吉 館 盛治
板倉秀夫	小滝當貴 堤 和由
岩崎親道	小林 二 根岸一二
梅澤 誠	小林詔一 羽田野孝栄
大里政由	小林満寛 廣神重子
大澤淳一	五味田博 平方佳介
小小木久四	清水 清 前原美佐保
郎	清水 洋 茂木邦武
金居成治	田嶋愛子 吉田長生
金丸由太郎	中村 清

秋の桐生史跡めぐり&講演会が開催されました



梅原史跡

11月10日(日)謎の梅
原館・桐生のルーツをめぐ
る「秋の桐生史跡めぐ
り&講演会」が開催されま
した。鳳仙寺を出発し、
梅田町にある梅原館跡を
見学し、平塚貞作さんの
講演会。その後、桐生氏
の菩提寺である西方寺、
最後に鳳仙寺を見学する
コースでした。
桐生散策ガイドの皆さ
んと桐生市観光交流課の
主催で秋の紅葉を見なが
ら素晴らしい会になりま
した。
◆講演会「梅原館の時代
背景からみた桐生氏」
講師 平塚貞作(桐生市
文化財調査員)
◆桐生発祥の地・いわれ
の史跡と薬師堂。
◆桐生市、由良氏ゆかり
の菩提寺や中世・戦国時
代の旧城下町に残る史跡
重要文化財の数々。

『除夜の鐘』を撞いで 今年の厄払いをしましょー!

除夜の鐘

12月31日は、毎年恒例の「除夜の鐘」を行います。撞き始めは11時30分頃を予定しています。古いお札や縁起物・お守りは、境内にてお炊き上げをいたしますのでこの機会にご持参ください。

また、本堂では甘酒や温かい珈琲の接待のほか新春のご祈祷、破魔矢、お守りなど縁起物の頒布をおこなっています。

元旦0時からは本堂にて本年の厄を消除する、年始めのご祈祷であります「元朝大祈祷(がんちようだいきとう)」を行います。

ご家族の方、ご近所の方をお誘い合わせのうえ、ぜひともご参詣ください。

○寒いので、暖かい服装

ご祈祷は、随時受け付けております。

でお出かけ下さい。○参道は、暗いので徐行をしながらお車の運転にご協力をお願いします。

新春祈祷

元旦より4日まで毎日、新春のご祈祷を行います。時間は、朝9時半〜午後4時半頃まで20分程の間隔で随時申し込みができます。年の初めに、厄を払い素晴らし1年のスタートと成りますようご祈願をお勧めしております。

主な願目は、厄除開運、大願成就、方位消除、福徳開運、厄除開運、家門繁栄、善星皆来、悪星退散、家内安全、商売繁盛、社運隆昌、交通安全、諸病平癒、無病息災、安産祈願、合格祈願、諸願成就などです。

令和2年 厄年表		
前厄	本厄	後厄
男		
60歳 <small>昭和36年生</small>	61歳 <small>昭和35年生</small>	62歳 <small>昭和34年生</small>
41歳 <small>昭和55年生</small>	42歳 <small>昭和54年生</small>	43歳 <small>昭和53年生</small>
24歳 <small>平成9年</small>	25歳 <small>平成8年</small>	26歳 <small>平成7年</small>
女		
60歳 <small>昭和36年生</small>	61歳 <small>昭和35年生</small>	62歳 <small>昭和34年生</small>
36歳 <small>昭和80年生</small>	37歳 <small>昭和59年生</small>	38歳 <small>昭和58年生</small>
32歳 <small>平成元年生</small>	33歳 <small>昭和63年生</small>	34歳 <small>昭和62年生</small>
18歳 <small>平成15年</small>	19歳 <small>平成14年</small>	20歳 <small>平成13年</small>

尚、この表は満年齢に一歳を加えた数字



辻さん松永さん

11月18日、常盤殿にて『お寺で和の音色』というテーマで三味線演奏会が開催されました。

お寺で和の音色・三味線演奏会



常盤殿にて

辻泰子さんと松永正勝さん。深川節、岸の柳、滝流し、など8曲が披露されました。

除夜の鐘

開運 厄除け

祈禱

ゆったりと落ち着いた
雰囲気です
厄除けができます

1月1日から4日まで



会場の様子

第16回 おばけ寄せが開催されました

8月24日(土)夏の落語会「おばけ寄せ」が鳳仙寺常盤殿にて開催されました。

- おかげさまで80名の方にご参加いただき満員御礼となりました。
- ・講談 神田 愛山
- ・落語 瀧川 鯉昇
- ・落語 瀧川 鯉丸
- ・落語 二ツ目



パネルシアター

パネルシアターとは、



こちらを貼って行きます

物語の住職役の声には、ぶんぶく茶釜の「茶釜」が納められている。館林市・茂林寺の古川住職に担当してもらいました。

はみ出しコラム (副住職)

11月25日、高崎市吉井町の仁叡寺さまで群馬県曹洞宗布教部主催の『禅をきく会』が開催されました。約三百名の方々が参加して大盛況でした。



瀧川鯉昇さん

声の強弱や、話の流れ、間の取り方など見事だなあと感心しながら聞いていました。

【特派布教師さんによる法話会】



西田正法老師

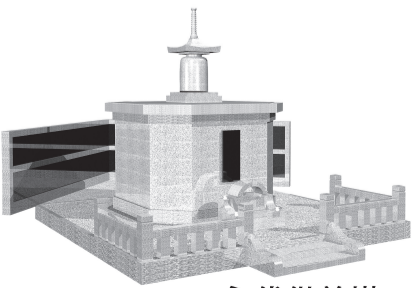
皆さん熱心に

10月10日(木)、鳳仙寺を会場に、曹洞宗特派布教師さんによる法話の会(特派布教師会)が開催されました。今年度の布教師さんは、栃木県足利市・明林寺住職である西田正法老師です。お隣の街というのもまたご縁でした。



会場は満員

物語の住職役の声には、ぶんぶく茶釜の「茶釜」が納められている。館林市・茂林寺の古川住職に担当してもらいました。保育園や幼稚園の一部では、先生がこちらを作っているようですが、お坊さんが集まって作るのには、参加者の皆さんに喜んでいただきとても良かったとホッとしました。



永代供養塔

永代供養費 15万円より

永代供養

お墓の供養祭祀の継承者のいない方、またご事情により、将来お墓を継承できない方のため当霊園が責任をもって、永代にわたりご供養し、おまもりいたします。お子様のいないご夫婦や生涯独身でいられる方々に、やすらぎとご安心をお約束します。

一般墓地

緑の林に囲まれた落ち着いた雰囲気です。ゆったりとした南向き。お車でお参りできます。一区画 30万円より



坐禅と朝粥の会

毎月一日(正月を除く)朝七時より八時頃まで坐禅と朝粥の会を行っています。(会費無料)